

BATJ-JF 共催 日本語教育セミナー

言語の本質

—ことばはどう生まれ、どう進化したか—

本セミナーは、英国日本語教育学会と国際交流基金ロンドン日本文化センターが共催事業として実施するものです。毎年、共催セミナーでは、年少者から成人まで対象者や校種にかかわらず汎用性の高い実践的なテーマを取り上げ、その分野の最前線の講師の先生をお招きして、新鮮で魅力的な学びの機会を提供しております。

今回のセミナーでは、話題の新書『言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか—』の著者である今井むつみ先生をお迎えします。AIの進化に伴い、ひとが外国語を学ぶ意義について再考する機会が増えている方もいらっしゃるのではないかと思います。AIとひとの違いはどこにあるのか、そもそも言語はどのように生まれ体系化されていったのか、言語の本質的な特徴は何かについて、オノマトペを出発点にお話しいただきます。

多くのお申し込みを心よりお待ちしております。

概要

日時: 2024年2月4日(日) 10時~12時00分(英国時間)

テーマ: 言語の本質—ことばはどう生まれ、どう進化したか—

講師: 今井むつみ(慶應義塾大学環境情報学部 教授)

対象: 英国・欧州の教育機関の現職日本語教師および日本語教育専攻の大学院生
(上記の方を主たる対象としていますが、その他の地域の方の参加も可能です)

定員: 80名

実施形態: オンライン (Zoom 会議システムを使用)

使用言語: 日本語

参加費詳細とお申し込み方法: [こちら](#)をご覧ください。

お申し込み締め切り: 2024年1月30日(火) 12:00 (GMT)

※ただし定員になり次第、締め切ります。

主催: 英国日本語教育学会、国際交流基金ロンドン日本文化センター

講師プロフィール:

今井むつみ(いまい むつみ)

慶應義塾大学 環境情報学部 教授

Ph. D. (ノースウェスタン大学, 1994 年)。専門分野は認知科学、特に認知心理学、発達心理学、言語心理学。

多数の英語論文に加え、著書『人が学ぶということ—認知学習論からの視点』(北樹出版)、『算数文章題が解けない子どもたち—ことば、思考の力と学力不振』(岩波書店)、『英語独習法』(岩波新書)、『学びとは何か—<探究人>になるために』(岩波新書)、『言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか』(中公新書)など多数。日本における小学校や高校の複数の

国語教科書に文章が掲載されている。さらに、広島県教育委員会と協力し、学力不振で苦しむ子どもたちの学力困難の原因を見えるようにするツールや学習補助教材の開発にも取り組んでいる。

アウトリーチ活動として、ABLE (Agents for Bridging Learning and Education) という国境を越えて学びを考えるワークショップシリーズを続け、国内、海外から著名な認知科学研究者を招聘し、学び、教育について最先端の研究成果を学ぶとともに、参加者の中で意見交換をし、ともに考える場をつくっている(<https://cogpsy.sfc.keio.ac.jp/ablearchives/>)。

